国際ロータリー　第2570地区　新座ロータリークラブ会報　2023～2024年度

NIIZA　Rotary　weekly

第1851号

令和6年4月4日　発行

国際ロータリー会長　ゴードン　R. マッキナリー『世界に希望を生み出そう』

第2570地区ガバナー　髙丹　秀篤　『希望を語ろう』

会長方針　森田　輝雄　『小さな夢を大きく育てよう！』

会長　森田　輝雄　副会長　岡野　元昭　幹事　神谷　浩一

第2229回例会　3月第4週　3月28日(木)

通常例会　『入会式』『イニシェーションスピーチ』山腰拓実会員

司　会	親睦活動委員	石原　勇介
点　鐘	会長	森田　輝雄
ソング	「我らの生業」	

会長の時間　会長　森田　輝雄

　皆様こんにちは。３月７日の第１例会から本日までの報告をさせて頂きます。３月９日に我がクラブの創立３０周年事業で１００万円を費やして新座駅南口に設置したイルミネーションを商店会の皆さん１５名で取り外しました。３ヶ月間設置しました。３月１０日は本庄文化会館で行われました２５７０地区の「希望の風チャリティー講演会」に参加させて頂きました。佐々木成三氏は元さいたま市の警察官であった為現場に即した講演で自分の身は自分で守るのが中心でした。

３月１６日「地区大会」深谷グランドホテルにてＲＩ会長代理の２７７０地区パストガバナー井原實氏で隣の埼玉南東地区の方で与野フードの会長さんでした。ＲＩ会長のメッセージの伝達を中心にロータリークラブの活用についての話が何と３時間ありました。

３月１７日二日目の「地区大会」は、深谷市民文化会館の本会議には１０名の参加者でした。皆様大変ありがとうございました。

　話は変わりますが、２４日の相撲優勝は尊富士でした。何と１１０年ぶりの新入幕での快挙でした。記者会見で「記録でなく記憶に残る力士でありたい」など言われておりました。前回の例会でも触れさせて頂きましたが、ＡＩでの表しがたい言葉などでしたが記憶に残る感情もＡＩでは表現されにくい一つでもあります。これから我々大いにＡＩの良いところには十分活用させてもらい様々な場面で生かしたいと思います。

幹事報告　幹事　神谷　浩一

１、地区事務所より６件受信

１）地区研修協議会開催案内
日時：４月２１日（日）10時～16時30分
場所：ものつくり大学
２）IFMR　ジャパン大会　北海道開催
日時：７月２７日（土）１７時３０分より
場所：旭川トーヨーホテル
締切：５月１０日
３）ロータリー平和フェローの申請が開催
（〆切：５月１５日）
４）新狭山ＲＣ事務所変更のお知らせ
新事務局：3月23日(土)より
新住所：〒350-1306
埼玉県狭山市富士見１丁目4-19　2F
新TEL:04-2997-9361 FAX:04-2997-9362
５）「覚書（MOU）取り交わしのお願い」及び
「クラブの参加資格認定：覚書」
６）「2024-25年度地区研修･協議会」事前資料
（地区予算、賦課金　他）
1、「ロータリーの森」奉仕活動参加のお願い
日時：５月１８日（土）10時より12時
集合：９時３０分（時間厳守）
場所：秩父市羊山公園内「ロータリーの森」
作業内容：　除草・土盛・清掃等
鎌・唐鍬・スコップ・一輪車・
軍手等は秩父ＲＣで用意
昼食：作業終了後、お弁当配布
登録料：1人／2，000円　各クラブ２名以上
1、第２グループ第５回会長幹事会開催の案内
日時：４月３日（水）
場所：ベルセゾン　I階　ボヌール
登録料：５，000円（懇親会費用）
1、米山梅吉記念館より館報２０２４年春号及び
賛助会費入会のお願い受信
★新体制により１００円募金が無くなり賛助
会費として一口10，000円以上の依頼
1、新座市役所より令和6年春の交通安全運動実
施のお知らせ並びに実施要項
実施期間：４月６日（土）～１５日（月）
1、国際交流協会よりＮＩＦＡだより及び令和６
年度会費納入のお願い
1、埼玉県緑化推進協議会より緑の募金協力依頼
1、富士見ロータリークラブより会報拝受

入会式

形式に則りこれより山腰拓実さんの入会式を執り行います。新入会員の山腰さん、推薦人の森田会員、前にお越しください。

推薦のことば　　　推薦人　森田　輝雄

山腰さんをご紹介致します。山腰さんのお父さんとは新座国際交流協会でお世話になりました。詳しい事はこの後のイニシェーションスピーチで紹介して頂きます。
皆様どうぞ宜しくお願い致します。

会員章授与　　　会長　森田　輝雄

新入会員の山腰さん心より歓迎申し上げます。
ロータリークラブには世界共通の定款細則があり私達は皆それを遵守して行動しております。
あなたも入会されましたら「定款細則」を遵守して頂けますか。「定款細則を遵守致します」と宣言して頂き会員章と入会グッズを授与。その後、「入会のご挨拶」と「会長の歓迎のことば」を述べて入会式は滞りなく終了いたしました。

歓迎のことば　　　会長　森田　輝雄

御入会おめでとうございます。会員の皆様は、それぞれの企業の代表者として又職業人として立派な業績と豊富な経験をお持ちの方々です。
私達は、山腰拓実さんをこのクラブへお迎えできることを本当に喜んでおります。
現在、当クラブは発足以来４９年目に入り会員数２２名、職業も多岐にわたり第２５７０地区の中でも活発なクラブの一つであります。但しコロナの影響で奉仕活動が思うように成りません。
あなたは本日入会された事により、ロータリー

クラブの全行事に参加する資格を得、同時に当クラブの23名は勿論の事、第2570地区1,600名、全国84,789人、全世界1,201,101人（6/15現在）以上の友人を今、現在持てた事になります。そして、そこから得られる事柄は他の諸団体や組合などと、全く異色である上に大変貴重なものばかりです。これは、適格な推薦者と厳正な資格審査上のうえで入会できたからであり、あなたの特権でもあります。しかし、その反面、ロータリアンとして果して頂かなければならない約束事も沢山あります。

この度、ロータリアンとして入会されましたのは、現在のあなたの企業が、その業界でその地域で代表的であり認められ評価されているからです。ロータリーは、その職業を通じての奉仕を第一にしておりますので、どうぞロータリーの組織運営などを活用してご自身の職業の真髄を極めお仕事が繁栄するよう努力して頂ければ幸いです。

スマイル報告

親睦活動委員会　　　　委員　森　克巳

森田　輝雄会員　山腰さんようこそ！宜しくお願いします。
神谷　浩一会員　山腰さん入会おめでとう！
神谷　稔　会員　山腰様、ご入会おめでとうございます。
岡本比呂志会員　ご入会おめでとうございます。山腰会員、充実したロータリーライフとなるよう願っております。
吉原　礼子会員　山腰さん、宜しくお願いします
宮川　勝平会員・石原　勇介会員･森　克巳会員
村上　俊之会員
『山腰拓実さん、ご入会おめでとうございます。よろしくお願いします』

イニシェーションスピーチ

山腰　拓実

始めまして。山腰拓実と申します。
この度は、ロータリークラブに入会させていただき誠にありがとうございます。
私が、ロータリークラブに入会させていただく直接的なきっかけとなりましたのは、台湾へ出張へ行った時の出来事となります。

台湾へ出張した際に、台湾桃園市のロータリークラブの会長と会う機会がありました。
ロータリークラブの魅力や活動を聞かされ、入会したほうがよいと強く勧められたため、その場で新座市のロータリークラブの情報を調べたところ、国際交流協会でお世話になっいる森田会長が現ロータリークラブの会長であることがわかり、お話したところ、とんとん拍子に入会させていただくこととなりました。

また私は、高校時代にインターアクトクラブに３年間所属しており、様々なボランティア活動を行っておりましたので、ロータリークラブへの入会を検討した時に、インターアクトクラブとのつながりがわかり、縁を感じております。

本日は、自己紹介として私の生い立ちや性格、経歴と、仕事上感じていることをお話したいと思います。私は、１９８２年に生まれ、現在４１歳です。もともと内向的な人間でしたが、父が会社を経営しており、その傍ら様々な活動をしている姿をみて、将来何になるかを考えたときに、公務員として地道に生きるか、経営者になりたいと考えていました。

そして、高校を卒業後、人に言い返す勇気、力がない自分を変えたいと思い、防衛省の管轄である、全寮制の防衛大学校へ進学しました。防衛大

学校では、国際関係学科、陸上要員、相撲部として励みました。2001年に入校しましたが、防衛大学校は、当時は今よりも上下関係や規則が厳しく、大変な生活を送っていましたが、強く生きていく上でとても良い経験をすることができました。防衛大学校では、指導されることを「しばかれる」というのですが、あちらこちらで上級生の怒声が聞こえ、戦々恐々とするなかで耐え抜いていく辛抱強さも養えたのではないかと思います。
しかし、父とは違い、リーダーシップを発揮して周りを引っ張っていくタイプの人間ではなく、周りに合わせてしまい自分を出すことができない面が変わらず、理想と現実のギャップを埋めるため、一から自分で苦労して会社を作って経営をしてみたいという思いが強くなりました。
自衛隊をやめるという事を相談した時、父からは「おまえはもともと農民の家の子供なんだから高望みしない方がいい。安定した給料があって、家族を作って平凡に暮らすのが一番幸せだ」と諭されましたが、まだ今よりも若かった私は理解ができませんでした。また、学校の大隊指導官からは、「お前が自衛隊をやめることが国益になるのか」ということを面談時に聞かれましたが、「国益になるように頑張ります。」と返答し、社会に出ることになりました。したがって、社会貢献をすることは私の義務であると考えています。

　父の会社は製本業でしたが、その時代から盛り返して発展するのがなかなか難しい業態であったため、なにをするのか、考えながら色々なアルバイトを行いました。紆余曲折あり、現在は、行宇正書士として外国人の在留資格申請業務と、技能実習生の監理団体の業務、また池袋にて会社を設立して人材紹介、不動産業を行っております。
外国人のビザを扱う仕事、外国人材を扱う仕事を主に行っておりますが、今の日本の状況や政治状況、国際状況について思うことも多くあります。
・一つ目は、日本の少子高齢化と外国人材を扱う事のバランスの難しさについてです。
日本では、若い働き手が足りておらず、特に製造業においては人材不足が大きな問題になっております。

　そうした状況を補う制度として、技能実習制度と特定技能制度があります。
技能実習制度は、３年ないし５年間の期間で日本の企業に所属し、技術を学んで母国に持ち帰り母国の技術発展に寄与する目的の、国際貢献のための制度です。

　特定技能制度は、日本で初めて外国人の単純労働を認めた在留資格になりまして、人材不足を補うため、５年間の就業を認めたものになります。

　似た制度ではありますが、最も大きな違いは、転職ができるかどうかという事になります。
技能実習は、転職ができないため、これが人権侵害だとしてマスコミに大きく取り上げられ、２０２７年から２０３０年にかけて廃止され、育成就労制度という新しい制度に切り替わる予定となっています。こちらの制度では、当初１年ないし２年間終業した後に、転職ができる仕組みとなります。しかし、東京や大阪のような大都市では問題ないかと思いますが、地方においては人材の確保が難しく、どれだけ地方の企業の事を考えているか疑問に思います。日本に来る労働者はアジアの貧しい国からがほとんどで、現地の仲介役となる機関から相当額の借金をしてくるため、より多くのお金を稼ぐために、給与が高い企業、地域に移り住むのは当然の成り行きです。そうした時に、今回の法改正は本当に人手が足りていない地方企業にとっては死活問題となります。人権侵害はあってはならない事ですが、ほとんどの企業が真面目に外国人材と向き合っておりますので、偏向報道ばかりを重視するのではなく、悪いことを行う企業や中間搾取を行うブローカーを取り締まり、摘発する力を強めていく方向性をもっと考えた方が良いのではないかと思います。
・二つ目は日本がとても良い国だという事です。
日本には先行き不透明な停滞感が漂っていますが、どの国でも良い点、問題点があります。
幸福度ランキングで７年連続で１位を取っているフィンランドでは本当に国民がみんな幸福なんでしょうか。アメリカは経済大国ですが、住みやすい国でしょうか。中国はどうでしょうか。結果、日本が一番住みやすく、安心できると思います。
日本をさらに良い国にしていくため、ロータリクラブにおきましても微力ではありますがお役に立てるように活動して参りたいと存じます。
今後とも何卒宜しくお願い致します。